

2026年1月20日発行 第572号

2026

1

ふじさん

fujijeho group monthly magazine

八富士情報

~ 2026年指針 ~

多差異 多才

[社長・年頭所感]

多差異 多才

・役員・年頭メッセージ



赤岩からの富士

写真提供：都留市 産業課

[年頭所感]

多差異 多才

取締役社長 渡辺直企

明けましておめでとうございます。2025年は生成AIが普及・進化し我々の生活、仕事に大きな影響を与える様になってきました。また、生成AIの競争の激化で半導体不足、メモリ等の高騰など身近なところに影響が出始めています。当社においては各部門でそれぞれ課題に直面し取り組んできました。課題ごとに取り組みの内容、フェーズが異なりますが着実に変化し成果に近づいて来ていると思います。このような環境のなかでお客様の期待に応えるために、関わるメンバーが能力を発揮し、これまで以上に組織としての成果を出せるようにしていきたいと考えています。そこで今年の指針を「多差異 多才」としました。

世界の基準からみると日本はかなり均質な社会といわれています。また近代教育は均質な労働力を提供する強みを持っていたので、日本の工業化に大きく寄与したといわれています。サンタクララ大学が2024年に、創造的思考として一般的なふたつの課題を支援する際に生成AIが発揮する効果を調べました。オリジナリティを追求するよう指示したところ、ChatGPTを使うグループは意味的に似た傾向を示し、考え方も均質だったそうです。生成AIの学習に大量データを使って知識のネットワークをつくるとい

うことを考えると、生成AIが平均的な知識を示すことは容易に想像できます。直接的、間接的に生成AIの影響が大きくなる時代には均質さだけでは差別化は容易ではありません。一人ひとりの個性(差異)が重要になると思います。単純に個性を主張するのでは単なる混沌となってしまいます。「守破離」の様にまずは型を「守り」、次に型を「破る」、そして個性を型の上に築き、自分の能力を加えた新しい自分の型へ「離れる」ことで自分の才を発揮できます。このように、組織の方向性、目標を共有・理解したうえで多くの能力(才)を発揮することでより高い成果に結びつくことが可能になると考えています。

生成AIは公的にアクセス可能なインターネット上の数十億のページ、書籍、記事・論文などを用いて学習しています。これらの情報は既に生成AIが理解できる形、つまり形式知がベースになっています。現実社会では形式知だけでなく、暗黙知、つまり形式知化されていない経験、勘、直感など主観的な知識、ノウハウがあります。暗黙知によって企業、組織などの文化が醸成され、差別化の重要な要素になっています。当社では「究極の情報サービス」を目標に掲げ、関わる仕事の暗黙知を重視してサービス価値の向上に取り組んできました。一人ひとり

がそれぞれの立場、異なる目線で暗黙知を意識し、組織としてまとめていくことで、これまで以上に質の向上が可能になるとと考えています。

1月3日にグーグルの主席エンジニアである Jaana Dogan 氏が、AI コーディングツール「Claude Code」が Dogan 氏のチームが1年かけて開発していたシステムをわずか1時間で生成したとXでツイートしています。Claude Code の効果は絶大で、今後も開発業務に関する生産性向上に大きく寄与していくことになると思います。ただし、前提として Claude Code が

理解できる形、つまり形式知として論理的に完結した状態でシステムの要件を記述し Claude Code に渡す必要があります。Dogan 氏のチームは開発に一年かけましたが、その内で多くの要件を定義し、形式知として蓄積してきたはずです。この形式知がなければ Claude Code を使用しても短時間では開発は困難だったと思います。暗黙知は人が関わる仕事すべてに存在します。多くの差異を活用して身の回りの暗黙知をより多く獲得し、集結することで多才な組織にしていきたいと考えています。

(役員年頭メッセージ)

変化と成長

専務取締役 角田理

2026年の干支は「丙午（ひのえうま）」です。これは十干の「丙（ひのえ）」と十二支の「午（うま）」の組み合わせで、火の力が重なる干支とされ、太陽のような明るさや情熱のエネルギーを象徴しており、活力、変革の気運が高まり社会全体が大きく動く年ともいわれています。

世の中を見ると、ロシアのウクライナ侵攻はまだ収束せず、今年に入ってからは米国がベネズエラを急襲し大統領を拘束するという驚きの事件がおきました。またイラン各地で反体制の抗議デモが拡大し治安部隊との衝突で多数の死者が発生したという報道もあります。前向きな情熱とは違う大きな時代の変化を促すようなエネルギーを感じます。また世界情勢だけでなく生成AIの益々の普及にある技術の進展や、少子高齢化、人口減少、環境問題や災害の激甚化などの社会課題による変化も大きいものがあります。当然、世界のサプライチェーンや社会を前提として生活している我々もその変化に対応

せざるをえません。しかもそのエネルギーはますます増加するばかりです。

人間だれしも変化を好まず現状維持を望む傾向がありますが、私のつたない経験上も、変化に対応するときに組織も個人も大きく成長します。今のやり方や知識で十分と思ってしまうと新しいスキルや知識の習得の機会を失ってしまいます。現状踏襲で選択をしていくと、判断力も鈍くなっています。なにより周囲の成長とはうららに自分に自信が持てなくなってしまいます。変化に対応することは、新しいことを覚えたりこれまでの習慣を変えたりある程度の労力は必要ですが、それらの刺激がないと本能的に停滞してしまうものです。変化は好むと好まざるとに関わらずやってきてします。成長の機会として前向きに捉えるのが精神的にもよいと思います。是非あえて変化にチャレンジする前向きな情熱を發揮する年にしたいものです。

(役員年頭メッセージ)

備えよ常に

取締役 平井博人

1月8日に発生した扇山の山林火災は、本稿を執筆中の1月15日現在も延焼が広がり鎮火のめどが立っていません。昨夜帰宅途中の駅より山の沢や尾根伝いに赤々と木々が燃えているのが真近に見えました。幸い今のところ民家への被害はないようですが、一部地域では避難指示が出され、ごみ収集が中止されたりヘリコプターによる散水に伴い空路下では爆音に晒されるなど住民生活に大きな影響が出ています。

ところで皆さん、「林野火災警報と同注意報」についてご存じでしょうか。市町村長等により警報が発令されるとその対象地域では屋外での焚火はもちろん花火や喫煙まで禁止され、違反すると

30万円以下の罰金または拘留の対象となる場合があるとのことです。自治体の火災予防条例に基づいて2026年1月1日から全国の自治体で運用が始まった制度です。制度導入のきっかけは、2025年2月に岩手県大船渡市で発生した大規模な林野火災でした。

「備えよ常に」は、スカウト運動の創立者であるロバート・ベーデン＝パウエルの言葉です。人は往々にして何かきっかけがないと行動に移せなかったり、考えたりできなかったりします。災害に備えることは当然ですが、何事に対しても常日頃の備えが大切であり、「いざ」という時に役立つと思います。今の日常を見直したり、将来を見据えあらゆることに「備えよ常に」でありたいですね。

(役員年頭メッセージ)

デジタルヘルス

取締役 北川榮一

近年、「デジタルヘルス」という言葉が浸透してきました。医療やヘルスケア、介護などの分野でデジタル技術を活用し、健康維持・増進、病気の予防から治療、そして介護なども支援する取り組みのことです。デジタル技術としては、AIやビッグデータ解析、センサーを搭載したデバイスなどが利用されています。

これらが更に進化した近未来を考えると、医療の領域では、例えばCTやMRIについては画像診療のベテラン専門医よりもAI解析の方が精度が高くなり、AI解析が当たり前になっているかも。ヘルスケア領域では、例えばセンサー付きトイレを使い尿や便に含まれる成分を自動的に分析することで、糖尿病や腎機能・がんリスクの兆候までを日常的にモニタリングし、結果はスマホや

クラウドに蓄積され本人や医療機関に通知される様になっているかも。介護の領域でも、高齢者の一人暮らしへの在宅見守りセンサーで、起床・就寝・食事・入浴等をさりげなく見守り、本人も家族や親戚も安心して過ごせる様になっているかも。

デジタルヘルスに関連する業務は、現在BPO推進部が提供している健康診断事務サービスの延長線上にあるものも多いと思われ、新年のはじめにこうした近未来へ思いを馳せることで、明るい気持ちになります。大切なことは技術の進歩によって、我々ひとりひとりの生活の質が向上し幸福度がアップすることだと思います。今年が進化した近未来へ繋がる明るい年になることを願っています。

(役員年頭メッセージ)

赤兎馬(せきとば)

丸久・執行役員 花田 満

中国の後漢末期から約100年間の歴史物語に三國志があります。その三國志の中に赤兎馬という馬が登場するのですが、一日に千里を走るといわれた名馬です。また三國志の中で名将といわれた武将の愛馬としても知られています。では本当に一日に千里を走れたかというとそれは誇張されているとの事です。ただ、そこまで誇張されているのは、長い距離を走れる強靭なスタミナを持った馬だったと推測できます。

さて、今年は改正保険業法の施行により、保険代理店は「顧客本位の業務運営」がより一層求められます。

特に弊社のような地方の中小保険代理店は

厳しい状況になると思われます。なぜなら、態勢整備に必要なリソース（人材・設備・資金・情報等）が不足しているからです。そのリソース不足の中でも人材不足は中小保険代理店にとって深刻な課題です。

そのような環境下で弊社は今年、営業社員、内務事務社員の増員を予定しています。新しい人材を迎える、態勢整備をさらに充実させていく予定です。

そして赤兎馬が長い距離を走り続けられたように、弊社も10年、15年先と長期に渡り、お客さまからの期待に対して、その期待を超えるサービスを提供し続けられるようなチーム作りのスタートの年にしたいと思います。

丸久通信

～ 保険が使えるにご注意を ～

昨今暴風・大雪・ひょう・地震などの後に保険金の請求を勧誘する業者とのトラブルが急増しています。保険会社への申請を代行する代わりにコンサルタント料や、損害調査費用を請求されるなどの相談が多く寄せられています。保険金請求は手数料なしで行うことができますので、まずはお気軽にご相談ください。

丸 久

電話:0555-24-2341 メール:marukyu@n1002710.insurance-agt.ne.jp

ホームページ:<https://marukyu.info/> QRコード→



今月の表紙

～赤岩からの富士～

2026年の表紙は2025年に引き続き、山梨県都留市にご協力をいただき、市内のさまざまな風景を掲載します。山梨百名山のひとつ「今倉山」。新・花の百名山のひとつ「二十六夜山」。このふたつの名山に挟まれたのが赤岩です！今倉山は、山頂に近付くにつれかなりの急登となります。足腰の鍛錬にもってこいですが、息を整えながら自分のペースで登りましょう！

赤岩は山頂の360° 大パノラマが絶景！都留市で一番！と言っても過言ではありません。条件が整った日には東京タワーが見えます。壮大な自然を目の当たりにすれば、感動が湧きあがって、自然と一体化した気分に浸ることができます。

二十六夜山は新・花の百名山に登録された山です。エイザンスミレは、高さが約7センチメートル、4月～5月頃に淡い紫白色のきれいな花が咲きます。大切に見守って下さい。 (都留市ホームページを参照しました)